

提案依頼事項

提案書は、下記 1 ～ 6 の順に、簡潔且つ具体的に A 4 版 1 0 ページ以内（表紙や目次を含めない。）で作成すること。

その際、基本仕様書を上回る機能や実施体制があれば、アピールできるよう記載すること。

1 基本方針

- 団体理念・目的、業務内容
- 本事業を実施する上での基本方針

2 機能及び教材

(1) 個別・協働・一斉の各学習場面で使用するツール

- 児童生徒が、個人で考える、発表資料をまとめるといった活動を行いやすくするための機能について
- 過去の学習内容を振り返る機能について
- 児童生徒が、グループ学習を行うにあたって、お互いの考えを確認する、他者の考えに対して気付きを伝えるといった活動を行いやすくするため機能について
- 児童生徒全員の考えに基づいて、個々が思考をさらに深めることができる一斉学習場面にするための機能について
- 教員が、児童生徒の学習状況をリアルタイムに把握したり学習評価を行ったりするにあたって、個々の支援や指導の改善につなげやすくするための機能について
- 授業者及び児童生徒が、デジタルワークシート等をリアルタイムに同時編集することができる機能について

(2) デジタルドリル

- 収録教材及び本市採択教科書への対応
- 基礎的・基本的な知識等の習得だけでなく、習得した知識等を活用して思考・判断・表現する能力の育成もねらえるような問題の内容及び問題数
- 個々の学習状況・習熟度に応じて学習するための機能について
- 上級学年の問題に挑戦する、下級学年の問題を振り返るなど、児童生徒が、より個に応じた学習を行うための機能について
- 児童生徒が、進んで学習に取り組もうとする意欲を喚起するための工夫
- 自動採点機能について
- 教員が児童生徒の学習状況を把握するための機能について
- 教員が問題を作成したり編集したりするための機能について
- 教員が支援をするための機能について

(3) 操作性等に係る工夫

- 操作メニュー、ボタン配置や表示上の工夫、操作性、視認性など、児童生徒の視点に立った使いやすさを、システム開発の意図や目的などとともにその効果について
- 収録教材
児童生徒の学習効果向上や、教員の教材研究、授業準備等を充実させることができるような教材が収録されているか。

3 システムの運用

- システム利用のためのアカウントについて
- システム利用のために必要な作業について
- システムの利用環境について
- 教員の人事異動時の対応
- 児童生徒の各家庭における本システムの利用について

4 研修体制

- 教員を対象とした、利用方法や効果的な活用方法等の研修やマニュアル等について

5 実施体制

(1) 機密保持

- 機密の保持や個人情報の取組の遵守への措置について

(2) サポート体制

- セキュリティ対策、障害や事故発生時の対応について
- サポートデスクの開設時間や連絡方法等について
- 学校訪問によるサポートについて

6 導入実績

- 他の自治体（政令指定都市や中核都市）での本システムの受注実績

7 その他

提案書中には、社名・担当者名など、提案者が特定できるような内容は一切記載しないこと。